

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	保育・教育者論	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	姜 華	実務経験の有無・職種	無		
学習目的					
保育・教育に関する基礎的な学習を通して、幅広い知識と教養を身につける。また、保育士・教育者としての役割と倫理、制度的な位置づけを理解し、専門職としての知識、態度や自覚を養うことを目的とする。さらに、保育士・教育者が置かれた現状を正しく理解し、現代における保育や教育の課題に関心をもち、社会の変化に伴うニーズに応じた保育士の資質能力を高め、様々な角度から専門職について検討し、自覚を形成することをねらいとする。					
到達目標					
①保育士・教育者の存在意義や保育者とは何かについて理解する。 ②保育者の役割や倫理について理解し、社会から与えられた使命について理解する。 ③関連する法規等をもとに、保育者の職務内容について分析し、保育者の専門性について理解する。 ④特別なニーズをもつ子どもへの関わり方や援助方法について考察する。 ⑤保護者や地域社会との関わり方や互いの協働について検討する。 ⑥各自実習を振り返り、保育者としての課題を述べるができる。					
教育方法等					
授業概要	保育・教育者の職務内容や制度的位置づけなどの基礎的な知識について解説する。なお、社会の変化に伴い、保育者に求められる役割や資質能力、専門性が変化しつつあることを踏まえ、現代社会における保育者の在り方等について理解を深める。同時に、保育士という専門職を様々な角度から捉えなおし、自分なりの理想の保育者像を描くことができることを目標とする。受講者の理解を深めるため、適宜、映像資料等を用いた授業形態を取り入れる。				
注意点	個人としての学習態度を重視するほか、グループディスカッションをも重視する。理由のない遅刻や無断欠席は認めない。授業への参加意欲や態度などを踏まえ、総合的に評価するため、毎回の授業に参加することが重要です。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	30%	毎回の授業参加意欲や授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	オリエンテーション	授業全体のガイダンス			
2回	教師の仕事	教員の仕事や固有の役割について理解し、生徒の成長に与える影響などについて検討する			
3回	教員の任用と服務	関連する法律を基に教員が有する特殊な身分について理解し、その任用や服務について検討する			
4回	教員の資質向上と研修	教員に求められている資質能力について理解し、資質向上を図る様々な研修制度について学ぶ			
5回	教員養成の歴史 その①	戦前と戦後を対比に、教員養成の制度について理解し、教員免許更新制度について理解する			
6回	教員養成の歴史 その②	教員養成の歴史や理想とされた教員像について概観し、今日の教員の在り方について検討する			
7回	学級経営	学級経営の基本的な考え方を理解し、学校経営の具体的な内容について学ぶ			
8回	発達新时期に応じた保育の在り方	幼児の発達特徴について理解し、それぞれの発達段階における援助方法について検討する			
9回	特別支援教育の基礎	保育・教育現場における特別ニーズに応じるための教育の在り方について検討する			
10回	遊びを通じた総合的な指導	様々な遊びの特徴について理解し、遊びを通じた総合的な指導の在り方について検討する			
11回	3年間の保育記録－3歳児編	3歳児の保育の在り方について検討する			
12回	3年間の保育記録－4・5歳児編	4歳児や5歳の保育の在り方について検討する			
13回	保育者の資質と役割	保育・教育者の仕事の専門性や必要とされる資質、担う役割について理解し、実態を検討する			
14回	教員をめぐる諸問題	これからの教員をめぐる動向や課題について検討する			
15回	まとめ	全体のまとめ			